第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）5

座長:川﨑佑磨(土木),荒巻卓見(建築)
2024年6月28日(金) 09:00 ～ 10:30 第2会場 (小展示室B)

[1247]水酸化カルシウム懸濁溶液を用いた炭酸化反応を促進するアミンのスクリーニング法の構築

北垣亮馬[1], 呉多英[2], 潘談[2], 齊藤亮介[3] (1.北海道大学工学研究院 2.北海道大学 3.清水建設)

キーワード：水酸化カルシウム、懸濁液、スクリーニング法、 Calcium hydroxide、 suspension、 screening method

アミンとアルカリ金属塩，多孔体の組み合わせによる CO_2固定・分離回収に関する既往の研究をもとに，細孔溶液にカルシウムイオンを多量に含むコンクリートに対してアミンを適用し， CO_2の固定促進をめざす技術の構築のために，効果的なアミンを選定する必要がある。アミンの種類によっては、 CO_2固定がむしろ阻害されるものもあり，コンクリートに適用する前に，多種多様のアミンの中から， CO_2固定程度を迅速に評価し，スクリーニングする手法が望まれる。そこで本研究では，７種類のアミンを添加した水酸化カルシウム懸濁液に CO_2をバブリングし，固定量を比較できるスクリーニング手法を考案しアミンを評価した。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会